



七尾市長
不嶋 豊和
Toyokazu Fukushima

2014
年頭あいさつ

市制10周年を迎えての決意 「前進、前進、前進」

市長就任1年を振り返って

あけましておめでとうござい
ます。
武元文平前市長からバトン
を引き継ぎ、市民のご協力もい
ただきながら、1年間やって来
れたかなと思います。2年目
は、1年目以上にしっかりとが
んばっていきたいと思います。

カタチになってきた政策

昨年は交流人口拡大に向
け、全国から多くの人たちを
呼び込む事業を通して、七尾
市をPRできた1年となりま
した。

能登有料道路の無料化や能
越自動車道の一部供用を背景
に、世界農業遺産の国際会議や
名水サミット、寺町サミットや皇

太子殿下をお迎えしての全国
農業担い手サミットなど、国や
県からの大型予算を七尾市に
取り込む事業を誘致するこ
ができました。

さらに、和倉温泉や能登島を
中心にスポーツ合宿などを推進
する事業も軌道に乗り、明るい
兆しが見えてきました。地域経
済の下支えができたのではない
かと思います。

そういった雰囲気からでしよ
うか。市民の皆さんにもがんばっ
てみよう、取り組んでみようとい
うような機運が表れたような
感じがして、うれしく思います。

スポーツ合宿のメッカづくり

交流人口拡大に向けた取り
組みの一番の要は、スポーツを
中心とした合宿です。昨年は、
能登島グラウンドが完成し、和

倉温泉にあるものを含め、5面
のサッカーグラウンドと受け入
れ施設ができました。4月か
らの6カ月間で利用者数は6
万9千人。これは、予想以上の
数字です。この効果は一過性の
ものではありません。大半が子
どもたちなので、大きくなって
からも、思い出をたどってリ
ピーターとなってくれることも
期待しています。

先々のことも考えながら、今
しなければならぬことを、関
係する皆さんと着実にやってい
かなければならないと思ってい
ます。

また、新たな計画として、テ
ニス合宿や大会の誘致にも乗
り出します。和倉温泉多目的
グラウンドの横に、最大24面の
テニスコートを整備する予定で
す。できれば、平成27年の夏
に、七尾市で行われる県民体

育大会でお披露目したいと思
います。

世界農業遺産

「能登の里山里海」の活用策

昨年5月に世界農業遺産の
国際会議が七尾市を中心に行
われました。その際、国内外に
「能登の里山里海」の魅力を伝
えることができたと思います。
一方で、先人たちが残してく
れた今ある環境は宝なのだ
と再認識し、次の担い手に伝えて
いかなければならないという動
きも出てきました。このような
活動が活発になれば、農林水
産品のブランド化や高付加価
値化、6次産業化などに向け
ての動きにも弾みがつくので
はないでしょうか。

ハッピーリタイアメントの展望

昨年から始めたハッピーリタ
イアメントへの取り組み。七尾
市への定住を促進するための
住宅支援や空き家バンクの創

設、七尾暮らしの体験ツアーな
どを実施しました。県内外の
方々に、住み慣れた土地を離
れ、七尾市に住んでもらうこと
は難しいことです。しかし、さ
まざまな取り組みを地道に行
いながら、成果を出していき
たいと思います。移住した人の家
族や友人が訪れるでしょう。
こういったことも交流人口の
拡大につながります。また、移
住した人の中には、技術や知識
を持った人がいるかもしれませ
ん。これまで培った能力や経験
をこの七尾市で生かしてくれ
ることも期待できるのではない
でしょうか。

交流人口のさらなる拡大や産業の活性化の対策

平成27年3月には、北陸新
幹線金沢開業し、能越自動車
道が七尾市まで完成します。
また、七尾港の整備も進ん
でいます。能登空港を含めて考
えると、陸、海、空の交流や産
業振興の基盤が整備されたこ
とになります。それらを生か

し、結果を出していきたいと思
います。能登有料道路の無料
化だけでも、これまで以上に七
尾市へ訪れる人が増え、経済効
果に期待ができると、市民の皆
さんも感じているのではないで
しょうか。この印象がさらに大
きくなるということです。さま
ざまな施策を立てていきたいと
思います。

また、訪れる人たちを受け
入れる拠点となる施設も整備
していきます。例えば、旧中央
図書館跡の整備や「能登の里
山里海」をPRする博物館も
整備したいと思います。

安心・安全な暮らし

七尾市は、三つの視点で暮ら
しの安心、安全に取り組んでい
きます。
一つ目は、自分の身は自分で
守る、隣近所は助け合うとい
う精神で、各町で自主防災組
織を組織します。251町会
のうち、195町会で結成さ
れたということはうれしいこと
です。結成しただけで終わら

ず、継続的に訓練などを行う
ようにお願いをしています。
二つ目は、市民へ確実に防災
情報を伝えることです。屋外ス
ピーカーの更新や防災ラジオ、
防災メールやホームページなど
の整備も行い、七尾市からの情
報は多重的に発信するシステ
ムになりました。

三つ目は、ハザードマップを活
用し、いざというときにどこへ
避難するのか、災害時にはどん
な対応をしなければならぬ
のかを理解しておくこと。

この三つを基本に、市民の安
心、安全な暮らしを守りたい
と思います。

市制10周年を迎えるにあたって

この10年を総括すると、財
政の健全化に取り組み、市民
の皆さんには我慢と負担をお
願いしてきました。そして、1
市3町が一体となるようにも
取り組んできました。平成24
年9月には、七尾市まちづく
り基本条例を制定し、七尾市

が目指す「人が輝く交流体感
都市」に弾みをつけました。
今年、これからの10年を目
指すスタートの年です。まず
は、市のシンボルの制定を行い、
市制10周年にふさわしい記念
事業を実施し、市民の気持ち
が一つになる一年としたいと思
います。

市民へのメッセージ

北陸新幹線金沢開業や七尾
市までの能越自動車道の開
通、そして七尾港といったイン
フラを生かし、素晴らしい能登の
里山里海を全国に発信してい
きます。また、七尾市の歴史や
文化にも磨きをかけ、多くの
方々が訪れてくれる町にする
ようにがんばります。

2年目、3年目、4年目は、
「前進、前進、前進」あるのみで
す。市民の皆さんと共に、全力
で取り組みますので、今年もよ
ろしく願います。

